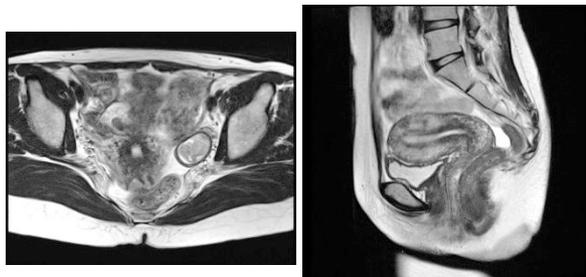


骨盤レディースドック

骨盤レディースドックは骨盤内の子宮や卵巣を MRI 装置で撮影し、女性特有の病気である子宮頸がんや子宮体がん、子宮筋腫、卵巣腫瘍などの発見に役立つ検査です。

厚生労働省が発表した「人口動態統計の概要」によると、女性の平成 27 年における 1 年間での死因別死亡総数のうち、悪性新生物で亡くなった方は 15 万 838 人で全体の 24.2% を占め、1 番の死因という結果となっています。このうち子宮の悪性新生物で亡くなった方が 6,429 人、卵巣の悪性新生物で亡くなった方が 4,676 人と発表されています。また、子宮や卵巣の病気の初期は無症状のことが多く、日常生活の支障があまりないため、発見が遅れてしまうと最悪の場合は全摘出ということにもなってしまいます。



骨盤レディースドック (MRI 画像)

子宮がん

子宮がんには子宮の入り口付近にできる“子宮頸がん”と子宮の奥にできる“子宮体がん”があります。子宮頸がんは、40～50 歳代で一番多く発症しますが、20 代や 30 代でも発症する方はいます。これは、子宮頸がんが性交渉と深く関係していることが原因です。また、子宮体がんは 50 歳前後の方に多く、閉経後の発症も増加しています。以前は、子宮がんの大半が子宮頸がんでしたが、最近では子宮体がんの比率も多くなっています。これは、食生活の欧米化や脂肪の摂取量の増加が関係していると言われています。

卵巣がん

卵巣は女性ホルモンを分泌する器官で、女性の体の中で腫瘍ができやすいと言われています。特に卵巣がんは初期の自覚症状が無く、症状がでた場合はある程度進行している可能性が高いとも言われています。卵巣がんは 40～60 歳代で多い病気ですが、思春期から閉経後でも発症します。

検査方法

MRI 装置で骨盤内の子宮や卵巣の撮影をします。検査時間は 20 分程度です。

注意事項

- 磁気や電磁波を使用する検査の為、ペースメーカーや人工内耳を使用の方は、検査を受けることができません。
- 検査室内には、時計や磁気カード、携帯電話などの電子機器等の金属類は持ち込めません。
- 手術により体内に金属が入っている方や閉所恐怖症の方、体に刺青やタトゥー、アートメイクをしている方は検査を受けられない可能性があります。



MRI 装置